

## 事業名「夜須高原スマイルライフキャンプ」

### 1 事業の必要性

「子供の貧困対策に関する大綱」（平成26年8月29日閣議決定）を踏まえ、困難な環境にある青少年を対象に、規則正しい生活習慣や自立する力を身に付けるための事業を実施する主体者として、独立行政法人国立青少年教育振興機構が設置する国立教育施設において、主に母子家庭等ひとり親の子供たちとその母親を対象とした体験活動の場を提供する。また、ひとり親家庭が故に不足しがちな多様な体験活動の機会を提供することで、自己肯定感の向上、生活習慣の改善等につなげ、親子ともにこれからの豊かな生活づくりのきっかけとする。

### 2 趣 旨

母子家庭等の生活の向上に寄与するため、子育てに関する現状や悩み、家庭で大切にしていることを共有し合い、互いに学びを深め、ネットワークづくりを行う。また、さまざまな自然体験活動、生活体験活動を通してコミュニケーション能力、自立心、協調性、自己肯定感の向上等とともに生活習慣のさらなる向上を図る機会とする。

### 3 事業の特色

○夜須高原記念のピザ作り、キャンドルのつどい、麺打ち体験等、さまざまな体験活動の機会を提供し、親子ともに今後の豊かな生活づくりのきっかけとする。

○近隣の施設と連携して事業を実施することで、日常、あまり体験することができない麺打ち体験の機会を提供する。

### 4 期 間 平成28年10月1日（土）～10月2日（日）1泊2日

### 5 企画・運営のポイント

○北九州市母子寡婦福祉会と連携を図りながら、親子でふれあいながら、さまざまな体験活動ができるプログラムを多く取り入れた。

○ピザ作り、キャンドルのつどい、麺打ち体験等の班は親子一緒に活動できるようにした。

### 6 成 果

○ピザ作り、麺打ち体験では、親子で協力しながら初めて生地から作り、貴重な体験を提供ができた。

○当日は荒天になり、予定していた林間ボブスレー、キャンプファイヤーはできなかったが、ニュースポーツ、キャンドルのつどいを実施し、親子や各家庭の交流を深め、楽しく活動ができた。

○今年度は食に関するプログラムがメインになったが、粉から生地を作ったり、自分たちで作ったものを一緒に食べたりする等、親子の絆を深める活動として非常に効果的な活動となった。

7 課 題

○北九州市母子寡婦福祉会との事前打合せをおこなったが、時間配分等が十分とはいえず、日程の変更が出てしまった。

○4回目を迎える次年度は、夜須高原青少年自然の家をベースに、北九州市母子寡婦福祉会のスタッフが活動プログラムを企画し、当所職員（担当者）がフォローする事業に発展することが、本事業のねらいを達成することができると思う。

プログラム・日程

10月1日（土）

8:30	8:40	10:30	11:30	14:00	17:00	19:00	20:30	22:00
集合	出発	バスの中	入所	ピザ作り	林間ボブスレー	つどい 夕食	キャン プファ イヤー	入浴 消灯

10月2日（日）

6:00	7:00	8:00	8:40	9:30	13:00	13:30
起床 洗面	つどい	朝食	清掃	点検 退所	ちくご手づくり村移動 麺打ち体験	別れの つどい 出発

参加実績：18家族（43名）

<参加者の感想>

- 自分たちで生地から作ったピザは格別のおいしさでした。
- キャンドルのつどいは初めて参加しました。大人も心が洗われました。ゲームも楽しかったです。
- ボブスレーは雨でできなかったけど、グループのみんなと仲良くできて楽しかった。
- 自分たちで作る麺は、本当にラーメンになるかと不安になりましたが、できあがったラーメンは本格派の味でした。
- 初めて体験することが多く、最高にいいキャンプでした。スタッフの方々もとてもよい対応でした。
- 子供たちや保護者も自然や温かく迎えて下さった職員の方々と触れ合え、日常を忘れ楽しむことができました。
- 子供たちのはしゃぎぶりを見ていれば、親としても幸せなので、いいイベントだなあと思いました。